



HITACHI
Inspire the Next

2011年2月1日
富士重工業株式会社
株式会社日立製作所

SUBARU80/2.0 風力発電システム 11 基が 御前崎風力発電所で本格稼働開始

富士重工業株式会社(代表取締役社長:森郁夫/以下、富士重工業)と株式会社日立製作所(執行役社長:中西宏明/以下、日立)は、このたび、中部電力株式会社が建設する風力発電施設「御前崎風力発電所」の 2 期工事向けに、富士重工業と日立が共同で開発した大型風力発電システム「SUBARU80/2.0 風力発電システム(以下、SUBARU80/2.0)」を 8 基納入し、2011 年 1 月 28 日から本格稼働を開始しました。これにより、昨年 2 月から稼働している 1 期工事分 3 基とあわせ合計 11 基が本格稼働を開始したことになります。

御前崎風力発電所は、静岡県御前崎市の太平洋に面した海岸線に浜岡原子力発電所の東側および西側の約 10km に渡って SUBARU80/2.0 を 11 基配置した風力発電所です。SUBARU80/2.0 は、直径 80m のローターをタワーの風下に配置したダウンウインド方式の風車で、定格出力は、1 基あたり 2,000kW です。

SUBARU80/2.0 の特長であるダウンウインド方式は、その構造的な特長から台風などによる突風に対して主要構造部分への負担が軽減され、より安全で強固なシステムとなっており、海岸線への設置において強みを発揮します。また、山岳地域においても、吹上げ風を効率よく受けることができる等、さまざまな条件下でその特長を生かすことができます。なお、2,000kW 級の風力発電システムでダウンウインド方式を商用化したのは、SUBARU80/2.0 が世界で初めてです。SUBARU80/2.0 は、富士重工業と日立が共同で開発し、富士重工業が風車本体のナセル・ブレードおよびタワーなどの製造、日立が営業、発電機・パワーコンディショナーなどの製造、据付を担当しています。

富士重工業および日立は、日本の複雑な地形や気候に適した SUBARU80/2.0 の特長を生かして国内での普及を進めると同時に技術的な蓄積を図り、風力発電システムの技術開発をさらに推進していきます。

■御前崎風力発電所(2期工事分の一部)の外観



■報道機関お問い合わせ先

富士重工業株式会社 広報部 [担当:渡邊、松本、川原]
〒160-8316 東京都新宿区西新宿 1-7-2 スバルビル
電話 03-3347-2029 (直通)

株式会社日立製作所 電力システム社 経営管理本部 広報・渉外室 [担当:細田]
〒100-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
電話 03-3258-6457 (直通)

以上